

平成23年度第1回バリアフリー吹田市民会議 議事要旨

開催日時：平成23年9月2日（金） 10:00~11:25

開催場所：吹田市役所 第3委員会室

出席者：バリアフリー吹田市民会議委員

伊藤委員、樋口委員、長井委員、中嶋委員、中村委員、由佐委員、野々瀬委員、岡本委員

市出席者

地域教育部中央図書館 竹村参事、同 長主幹、建築課 小島主査、同石田高橋上田設計事務所 吉廻氏

（事務局）田淵室長、宮田総括参事、岡本参事、大市参事

傍聴人 0名

会議次第：1 開会

- ① 委員の紹介
- ② 市職員の紹介
- ③ 会長、副会長の選出

2 案件

- ①（仮称）千里丘図書館整備事業について
資料…（仮称）千里丘図書館整備事業の平面図

《議事要旨》

会長：（仮称）千里丘図書館についての説明をしてください。

担当課：（建築概要を説明）、バリアフリーへの配慮としては、エレベーター・スロープ・簡易オストメイト・聴覚障がい者対応の避難誘導灯の設置、段差の解消など。

玄関のバリアフリー、障がい者用駐車場1台、点字ブロックの設置を予定。

A委員：JR千里丘駅からの距離と道中の交通バリアフリー状況は。

担当課：距離は計測していない。健常者が徒歩で10分程度。現在、点字ブロックはないと思う。

A委員：千里山・佐井寺図書館もないが、対面朗読時、駅まで迎えに来てくれる。

担当課：図書館として、全館で同様の対応をしている。

A委員：土日の対応は。

担当課：検討する。先ほどの駅からの距離は600mほどです。

B委員：駐車場は何か所で、障がい者用は何か所か。

担当課：隣接する千里丘出張所と千里丘市民センターを合わせて、23台のうち障がい者用は3台。図書館としては、4台で、うち障がい者用は1台。

担当課：各施設の定休日が違うので、共用できるように調整中である。

B 委員：障がい者向けの駐車場について、認識していないのではないか。一人で運転している車椅子利用者などは、広いスペースが必要。どういう使い方を想定しているか。介護者が同乗している場合は、玄関で先に降ろしてから運転者が車を停めるほうが、便利。

担当課：敷地が狭いため、玄関の一番近い場所に設置し、幅は3.5mでドアを開放しても大丈夫な幅である。

担当課：前面道路は狭く、車を止めると行き違いできない。

会長：敷地内で乗り降りできるかどうかの質問では。

B 委員：障がい者が広い駐車スペースが必要とは限らない。内部障がいの人もいる。介護の必要な人もいる。ベビーカーを押したお母さんもいる。車椅子だけではなく、総合的な見直しができないか。

担当課：様々な状況に対応できるようにとの提案については、今後の課題として検討する。

B 委員：凶面の玄関正面にあるものは必要か、つぶして車止め（エントランス）にできないか。

担当課：駐輪スペースと植栽です。駐輪スペースも設置する必要があり、車止めにはできない。

会長：現状の図書館で、障がい者用駐車スペースは一館あたりどれぐらいの方が利用しているか。

担当課：数字は把握していない。

会長：裏づけが無く実態把握ができていないのに設置するということか。

担当課：バリアフリーの観点から設置している。

会長：今後様々な配慮を願いたい。

担当課：実態把握をして検討していきたい。

会長：他に意見のある方。

C 委員：駐車場台数は全体では減るのか。

担当課：全体では同数の確保である。

C 委員：歩道・道路との段差や駐車場からのスロープの高さや勾配は。隣接する市民センターと駐車場はつながっていると思うが。

担当課：全体での利用を協議中である。

D 委員：とても混んでいる日がある。

E 委員：共用で使えればありがたいが。

担当課：それぞれの定休日については、利用できる。あとは、協議中である。

担当課：駐車場からはスロープで勾配は12分の1である。前面道路からの勾配はもう少しゆるい。

C 委員：道路から施設が高いのか。全体として勾配はクリアするか。

担当課：そのとおりです。

A 委員：事前に頼めば障がい者用の駐車場を確保できるか。

担当課：他施設も借りて対応したい。

C 委員：スロープ・手すりはあると思うが、点字タイルはどこまでか。

設計事務所：点字タイルは道路から、風除室を抜けて1階の貸出コーナーまで。

C 委員：介助は貸出コーナーの者がするのか。

担当課：緊急時は貸出コーナーの者も対応するが、事前に予約をいただければ、2階の事務所で対応する。

C 委員：貸出コーナーのローカウンターは。

担当課：予定はしているが、備品購入については平成24年度であり、未定。

C 委員：屋内階段の踏み板は。

担当課：奥行き30cm、高さ16cm。

C 委員：屋外階段は。

設計事務所：緊急避難用です。

C 委員：1階に開放窓がないが。

設計事務所：2階部分が駐車場の上にせり出した設計になっているため、排気ガス対策として、開放窓はつけていない。

C 委員：常時空調などランニングコストもかかる。前向き駐車にすればどうか。

C 委員：屋外階段のところの扉は避難経路か。

設計事務所：避難経路は、玄関になる。職員などが利用するだけである。

C 委員：多目的トイレは1階だけか。

設計事務所：そうです。

F 委員：階段はコンクリートか。

設計事務所：そうです。

F 委員：階段は視覚障がい者には段差が見にくい。色を着けるとかして欲しい。

設計事務所：それは、滑り止めなども各種あるので可能です。

D 委員：階段の高さと幅は。

担当課：踏むところが30cm、段の高さ16cm。

会長：標準的にはどれぐらいか。

設計事務所：奥行き30cm、高さ16cmが標準です。

B 委員：エレベーター内のボタンについて。

担当課：車椅子用は側面に付く。

会長：車椅子の方が出るための鏡は。

担当課：鏡は付いている。

A 委員：玄関の音声案内、エレベーターの場所案内、点字案内板は。

担当課：誘導チャイムは設置。道路から玄関までは4m程度。点字の案内も玄関の総合

案内板に設置する。

A 委員：点字案内板があっても、点字案内板の位置を教える音声案内がないと、どこにあるかわからない。バリアフリーのガイドラインが現状に見合っていない。駅などの点字案内もほとんど利用されない。点字を読める視覚障がい者が、1割もいない状況。しかも汚れている。丁寧な音声案内のほうが利用しやすい。避難誘導装置の状況を詳しく教えて欲しい。

担当課：どんな音か、確認がまだできていない。

C 委員：誘導鈴のみではないか。

A 委員：誘導鈴が、避難するようにいうのか。

担当課：火災発生時などは火災報知機もなり、その場合には、職員が避難誘導や避難の館内アナウンスも行う。

B 委員：多目的トイレは赤ちゃんのオムツ交換台などもあり、よく混む。授乳室にはオムツ交換台がないのか。

担当課：授乳室とオムツ交換台をセットにすると、衛生上、洗面台が必要であり、スペース的に困難である。

C 委員：2階にあるシャフトのようなスペースは使えないのか。

設計事務所：1階部分は2階の床がせり出しており、特にトイレ側は暗いため、上からの光を取り入れる目的でダクトがある。

A 委員：壁面の色ですが、全部が同一色だと弱視者には区別がつかない。壁ごとに色を変えるなどの配慮を、また床も。

担当課：床はコルク材で薄茶色の斑模様である。壁については、図書館全体のスペースが狭いため、壁はほとんどが書架で埋まる予定。トイレなどは、検討する。

F 委員：いつ頃竣工か。

担当課：未確定ですが、11月頃着工し、約1年後に竣工する予定。平成24年度中には完成する。

B 委員：この会議はこれで終了か。

事務局：この案件に関しては、今回のみです。

B 委員：変更箇所の報告はされないのか。

A 委員：フィードバックはないのか。

担当課：変更可能な箇所は、本日回答した分です。検討するところについては、事務局を通して文書か何かで報告する。

会長：それでは、後日に報告をすること。他にありますか。

A 委員：豊中市は日本一のバリアフリー市である。普段から市議会議員や市職員、障がい者でミーティングがされている。吹田市も完成図面ではなく、もっと前から意見を聞くような体制を検討して欲しい。

会長：資料も見にくいので、壁に大きな図面を張って、指差してこの場所がどうなって

いるとか言うほうがわかりやすいと思う。

事務局：ご意見については、今後改善に向けて方法を検討します。

会長：それでは、本日の会議を終了します。